

小中学校屋内運動場等空調設備整備事業費について

設計から施工、メンテナンスを一括して担うＰＦＩ事業者の令和８年１１月からの募集に向けて、債務負担行為を設定する。

１ 補正予算案の概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 対 象 施 設 | 市立小中学校、市立工業高等学校など87施設 |
| (2) 対 象 諸 室 | 市立小中学校等の体育館、小学校の仕切りのあるプレイルームとピロティ |
| (3) 事 業 期 間 | 設計・施工期間 令和９～11年度 の３年間
維持管理期間 令和10～24年度 の15年間 |
| (4) 債務負担行為 | １８６億円 令和９～24年度 の16年間 |

２ 実施方針等の概要

（１）事業目的

- ・ ＰＦＩ手法により民間事業者の技術的な知見等を最大限に活用し、児童生徒等の熱中症対策などの教育環境の改善と令和６年能登半島地震などを踏まえた地域の避難所としても利用される屋内運動場等の生活環境の改善を図ること。
- ・ 維持管理を含めた効率的かつ効果的な運用を行うことで、本市の財政負担の縮減を図るとともに、政府が提唱する「ローカルＰＦＩ」等の趣旨に沿った事業とすることにより、地域経済にとってより多くのメリットをもたらすこと。

（２）事業スケジュール

- ・ 普通教室及び特別教室の空調設備の整備と同様、原則、体力が劣る児童が使用し拠点避難所でもある小学校のうち、児童数が多い学校から優先的に整備
- ・ 令和９年３月契約締結（設計・施工・維持管理期間は、上記のとおり）

（３）災害対策

- ・ 停電、都市ガス供給停止時にも空調設備の稼働及び電力供給を７２時間以上可能にするために必要な設備を導入し、避難所における良好な生活環境を継続的に確保
- ・ 県外から確実かつ、より多くの民間事業者による応援体制をとることが可能な都市ガスとプロパンガスのバランスのとれた供給体制を構築

金沢まちなか芸術祭ロゴマーク等の決定について

１ ロゴマークの概要

金沢21世紀美術館が、芸術祭をきっかけに まちへと膨らみ、
路地と路地とがつながって混ざり合う様子を表したもの。
芸術祭のコンセプトである「美術館はまちであり、まちは美術館である」を
体現している。



２ 制作者

北川 里沙 氏 (KuKiデザイナー)

※金沢市生まれ 金沢美術工芸大学卒業生

(一社) 金沢クラフトビジネス創造機構 デザイン部門 専門家 (マネジメントサポーター)

３ 今後のロゴマークの活用方法

(１) 各種広報媒体への掲載

芸術祭公式サイトやSNSを開設し、チラシ等に掲載

(２) 金沢まちなか芸術祭プレイベント等での周知

金沢まちなか芸術祭の機運醸成を図るため、夏・秋・冬のプレイベントをはじめ、
実行委員会を構成する団体による連携事業や各種民間団体等が実施する応援事業でロゴマークを発信

②秋のイベント

○KOGEIフェスタ！とのコラボ

日 程：10月10日（土）、11日（日）

場 所：しいのき迎賓館

内 容：金沢21世紀美術館映像及び芸術祭周知にかかる展示、ラビットチェア体験 等

○金沢美術工芸大学80周年記念とのコラボ

日 程：10月19日（月）～11月1日（日）

場 所：市役所第二本庁舎

内 容：金沢美術工芸大学卒業・修了制作の買上作品展示（彫刻、工芸 等）、ラビットチェア体験 等

○金沢21世紀美術館「市民美術の日 オープンまるびい」とのコラボ

日 程：11月3日（火）

場 所：金沢21世紀美術館

内 容：休館を控え、「おでかけ準備中♪」をテーマにしたキュレータートーク、絵本を読もう、まるびいおしゃべり探検 等

③冬のイベント

○芸術祭100日前記念イベント（令和9年1月） ※1月27日（水）100日前の前後の休日

場 所：まちなかホール（赤羽ホール）

内 容：芸術文化団体（芸術文化協会加盟団体）によるステージイベント 等

○宵のまちかどコンサート（令和9年2月～3月、2ヶ所 全2回予定）

金沢らしい質の高い文化芸術を、まちなかで気軽に体験できるプログラムとして、音楽イベント等をナイトタイムに開催予定

2月：邦楽家による演奏会（金沢JAZZ STREETまちかど会場）

3月：リードオルガン演奏会（金沢くらしの博物館）

○アニメ連携文化施設活性化事業【連携】（令和9年1月～3月）

場 所：金沢能楽美術館、金沢ふるさと偉人館、中村記念美術館、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館（予定）

内 容：アニメ声優による音声ガイドが聞けるデジタルスタンプラリー等を実施

④民間美術館との連携事業「アーキテクツベンチプロジェクト」

夏のプレイベント開催を前に、芸術祭の機運をさらに高めていくため、KAMU kanazawa と連携し、著名な建築家が設計したデザイン性の高いベンチを、まちなかの3か所に設置

設 置 日 : 令和8年8月28日 (金)

設置個所 : ①老舗記念館、②長町緑地、③鞍月用水グリーンパーク

ベンチ制作者 : 秋吉 浩気 氏 (VUILD代表取締役CEO、建築家)

今後の予定 : 次年度以降、設置個所を増やすなど拡充を予定



①老舗記念館



②長町緑地



③鞍月用水グリーンパーク

文化イベントの開催報告について

まちなかに賑わいと活力を創出するとともに、誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実につなげるため、文化イベントを開催した。

１ 金沢アカペラ・タウン２０２６

17周年を迎えた学生が主体となったアカペラの祭典

期 間 令和８年８月22日（土）、23日（日）

出演者 173グループ 929人（昨年度：122グループ 692人）
エリア別内訳 石川県13、北陸・信越（石川県を除く）15、北海道・東北13、
関東60、東海23、近畿40、中国・九州 9

主な会場 ストリートステージ：金沢市中心部の９会場（昨年度：８会場）
（金沢駅もてなしドーム、金沢市役所庁舎前広場、
（新）金沢市第二本庁舎 など）

その他 （新）ブレイキンステージ：AION Dance Academy所属のスクール生がダンスパフォーマンスを披露
（新）漫画「ヴォカライズ」とのコラボレーション企画：デジタルスタンプラリーの実施＝

公演名	令和８年（第15回）
オープニングステージ	535人
ストリートステージ（生声ストリート含む）	37,888人
ブレイキンステージ	360人
金沢アカペラ・コンクール	1,300人
ファイナルステージ	2,000人
合計	（過去最多） 42,083人

参加者の声 ・ちょっと歩けば歌声が聞こえ、金沢のまちなかが音楽で溢れていた。旅行も兼ねて、来年もぜひ訪れたい。
・全国のアカペラグループと交流を深め、憧れのステージで多くの人に歌声を届けることができ、うれしかった。



2 全国学生大茶会2026

全国から招聘した大学茶道部の学生による茶会

期 間 令和8年8月29日（土）、30日（日）

会 場 金沢市中心部の茶室等 12会場（うち、茶室9会場（夜の茶会2会場）、立礼席3会場）

参加校 30校 350人 参加者 2,129人 ※参加校、参加者ともに過去最多（昨年度：27校 290人 参加者 2,020人）

その他 全国学生大茶会2026交流会：学生、協力団体など240名が参加 **新** 参加校名入り「トートバック」を会場にて販売



会場／茶室	8月29日（土）			8月30日（日）		合計
	席主校	参加者	夜の茶会	席主校	参加者	
松涛庵	平安女学院大学	79人	31人	山梨大学 ※夜の茶会も	88人	198人
旧中村邸	同志社女子大学 ※市長招待席担当	89人		関西学院大学	126人	215人
耕雲庵	湘南工科大学・愛知教育大学	55人		金沢学院大学	53人	108人
閑清庵	名古屋大学	63人		金沢美術工芸大学（表千家）	75人	138人
松声庵	青山学院大学	69人		東海大学札幌キャンパス	71人	140人
旧園邸	金沢美術工芸大学（裏千家）	110人		京都工芸繊維大学	91人	201人
旧高峰家	慶應義塾大学	98人		北里大学薬学部・静岡大学（静岡キャンパス）	79人	177人
玉泉庵	北海道大学	96人	37人	京都府立大学 ※夜の茶会も	88人	221人
時雨亭	金沢大学	108人		立命館大学	120人	228人
しいのきプラザ	富山大学・長野県立大学	87人		中央学院大学・静岡大学（浜松キャンパス）	83人	170人
明治安田ヴィレッジ金沢	京都大学・京都府立医科大学	91人		東北大学	98人	189人
学生のみち市民交流館（交流ホール）	東京大学	85人		長崎大学・ノートルダム清心女子大学	59人	144人
合計		1,030人	68人		1,031人	2,129人

新

※夜の茶会の席主は、30日の席主校が担当

- 参加者の声
- ・学生の真心が伝わり、気持ちよく茶席を楽しむことができた。
 - ・全国の大学茶道部が一堂に会するイベントで、大学間の交流を深めることができた。



「金沢歴史遺産探訪月間 2026」の実施について

１ 趣 旨

歴史遺産を市民に身近で貴重な財産として理解を深め楽しんでいただき、また市外の方にも金沢の魅力として関心を寄せていただけるよう、10月～11月の２か月間を「金沢歴史遺産探訪月間」と題し、様々な行事やイベント等を実施する。

併せて、高尾城跡が９月１１日に市史跡に指定されたことを受け、記念シンポジウムを開催し、その魅力を広く発信する。

なお、期間中は、金沢文化財ボランティア「うめばちの会」や関連施設、地域との連携・協働により、普段は見られない文化財の一般公開のほか、史跡探訪会や無形民俗文化財の共演会等を開催する。

２ 期 間 10月３日（土）～11月30日（月）

３ 主な内容

新（１）高尾城跡市史跡指定記念シンポジウム（11月22日）

南砺市や野々市市など、一向一揆関連遺跡を有する近隣自治体と連携・協力し、その歴史や魅力を発信

（２）金沢の無形民俗文化財共演会（10月4日）

今年は、初めて「地域のお宝」認定団体にも参加いただき、加賀獅子など金沢の伝承芸能との共演会を金沢駅東広場にて開催

（３）その他

○ 探 訪 会	高尾城跡探訪会、まちしるべ探訪会、金石お宝発見、庭園探訪 など	・・・	8 件	
○ 発 表 会	加賀獅子共演会、加賀万歳上演会、秋の邦楽演奏会 など	・・・	8 件	
○ 講演会等	市民ふるさと歴史研究会、石川中央都市圏歴史遺産セミナー など	・・・	4 件	他 計：22 件



高尾城跡



無形民俗文化財共演会(R7)

<参考> 前回（令和７年度）の参加者 計 約 4,100 人 ※文化庁の文化財保護強調週間（11月１日～11月７日）

イベントに参加して
歴史遺産にふれよう

1 高尾城跡探訪会
10/3(土) 9:30-10:00
高尾城跡探訪会
先着20名
◎文化財センター
町史館に展示された高尾城跡の歴史をたどる。高尾城跡の歴史をたどる。高尾城跡の歴史をたどる。

2 金沢の熊形民俗文化財共演会
10/18(日) 15:30-20:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
金沢の熊形民俗文化財共演会。金沢の熊形民俗文化財共演会。金沢の熊形民俗文化財共演会。

3 西王山麓伝承祭り共演会
10/19(日) 10:00-11:30
金沢市文化財センター
◎文化財センター
西王山麓伝承祭り共演会。西王山麓伝承祭り共演会。西王山麓伝承祭り共演会。

4 日本書簡・市民館蔵書展 金沢のお宝発見
10/19(日) 10:00-12:00 (受付9:30)
金沢市文化財センター
◎文化財センター
日本書簡・市民館蔵書展 金沢のお宝発見。日本書簡・市民館蔵書展 金沢のお宝発見。

5 まちしるべ探訪会 旧町名を訪ねる
10/19(日) 13:00-15:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
まちしるべ探訪会 旧町名を訪ねる。まちしるべ探訪会 旧町名を訪ねる。

6 金沢こども歴史探検隊 戦国松山城跡
10/19(日) 13:00-15:40
金沢市文化財センター
◎文化財センター
金沢こども歴史探検隊 戦国松山城跡。金沢こども歴史探検隊 戦国松山城跡。

7 加賀万歳上演会
10/19(日) 13:30-14:30
金沢市文化財センター
◎文化財センター
加賀万歳上演会。加賀万歳上演会。

8 秋の青「ドウダンツツジ」のライトアップ 2日間限定
10/22(金) - 10/24(日)
金沢市文化財センター
◎文化財センター
秋の青「ドウダンツツジ」のライトアップ 2日間限定。秋の青「ドウダンツツジ」のライトアップ 2日間限定。

9 秋の拝読法会
10/20(金) 17:30-19:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
秋の拝読法会。秋の拝読法会。

10 加賀獅子共演会
10/21(土) 13:00-15:30
金沢市文化財センター
◎文化財センター
加賀獅子共演会。加賀獅子共演会。

11 歴史都市 金沢の映画祭2026
10/21(土) 10:00-11:00
10/22(日) 10:00-11:00
10/23(日) 10:00-11:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
歴史都市 金沢の映画祭2026。歴史都市 金沢の映画祭2026。

12 「時代が動いた転換点」
11/7(土) 13:30-15:30
金沢市文化財センター
◎文化財センター
「時代が動いた転換点」。「時代が動いた転換点」。

13 粟崎八幡神社 稲島一般公開
11/9(日) 10:00-14:00
粟崎八幡神社
◎文化財センター
粟崎八幡神社 稲島一般公開。粟崎八幡神社 稲島一般公開。

14 西村幸次町並み祭in金沢
11/14(土) 13:30-17:30
金沢市文化財センター
◎文化財センター
西村幸次町並み祭in金沢。西村幸次町並み祭in金沢。

15 「田近郷」散策会
11/14(土) 10:00-13:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
「田近郷」散策会。「田近郷」散策会。

16 高尾城跡市史館指定記念シンポジウム
11/22(日) 13:00-16:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
高尾城跡市史館指定記念シンポジウム。高尾城跡市史館指定記念シンポジウム。

17 江戸村の魅力を生かす体験ウォーク
11/22(日) 10:00-11:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
江戸村の魅力を生かす体験ウォーク。江戸村の魅力を生かす体験ウォーク。

18 かねの轆をまくー出土品と道具から探る金工の技ー
11/23(月) 10:00-15:30
金沢市文化財センター
◎文化財センター
かねの轆をまくー出土品と道具から探る金工の技ー。かねの轆をまくー出土品と道具から探る金工の技ー。

19 旧田上家住宅・医院の特別公開
11/23(月) 10:00-13:00
金沢市文化財センター
◎文化財センター
旧田上家住宅・医院の特別公開。旧田上家住宅・医院の特別公開。

◎文化財センター
◎文化財センター
◎文化財センター

金沢湯涌江戸村 管理棟の供用開始等について

１ 金沢湯涌江戸村管理棟について

金沢湯涌江戸村の来園者サービスの充実や集客力の強化を図ること等を目的に、ガイダンス機能を備えた管理棟の整備を進めてきており、今般、準備が整うことから供用を開始する。

< 建物概要 >

木造平屋建て、延床面積：227.63㎡ 受付、ロビー、事務室、トイレ、倉庫

< 管理棟機能 >

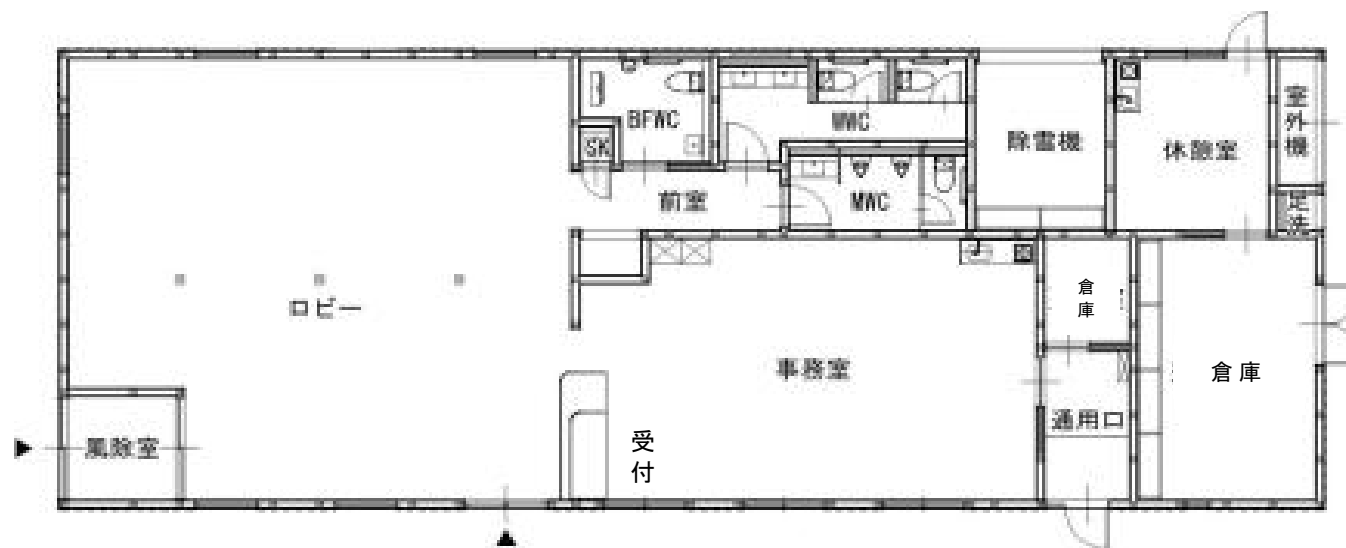
- | | |
|-------------|--------------------------------|
| ・ 受付と事務室を集約 | （受付を旧多賀家門、事務室を旧山川家から移動し集約） |
| ・ 映像コンテンツ放映 | （金沢湯涌江戸村の紹介、移築記録、プロモーション動画を放映） |
| ・ 書籍コーナー設置 | （江戸時代の暮らしや建築に関する絵本や図鑑等を設置） |
| ・ 展示パネル設置 | （展示建造物がかつてあった所在の解説等） |
| ・ タブレットコーナー | （ミュージアム＋（プラス）の閲覧） |
| ・ 民具資料等の体験 | （綿繰り機などの昔の生活道具や、伝統構法の「継手」の体験） |

外 観



内 観





2 管理棟オープン記念式典

- (1) 日時 令和 8 年 11 月 21 日 (土) 11 時～
- (2) 場所 金沢湯涌江戸村 管理棟ロビー (湯涌荒屋町 35-1)
- (3) 次第
 - ・ 市長式辞
 - ・ 議長祝辞
 - ・ テープカット
 - ・ 記念茶会 会場：旧山川家茶室「通楽庵」
- (4) 関連イベント (11 月 21 日～22 日)
 - ① デジタルふすまの展示 (旧鯖波本陣石倉家)
旧石倉家のふすま絵をモチーフに、デジタルを活用した作品を展示
 - ② 記念茶会 (旧山川家)
 - ③ その他 江戸からくり展示解説、畳縁の小物づくり、水引ワークショップ など

金沢マラソン 2026（第 12 回）交通規制の周知について

「金沢マラソン 2026」の開催（10 月 25 日（日））に向けて、地元町会等へ交通規制の協力を依頼してきたところであるが、このたび、主要交差点の規制情報や迂回路等を記載した詳細な交通規制図を作成したので、市内全戸ほか関係各所に配布し、交通規制の更なる周知を図っていく。

- | | |
|----------------|--|
| １．名 称 | 第 12 回金沢マラソン交通規制のお知らせ |
| ２．仕 様 | A 3 サイズ カラー 両面刷り |
| ３．作成部数 | 24 万部 |
| ４．配 布 先 | ○市内全戸及び全公民館 ○コース沿道の店舗・事業所及び住宅
○県・市行政機関及び近隣市町 ○市内文化・スポーツ施設 ほか |
| ５．そ の 他 | ○金沢マラソン公式ホームページや公式アプリに交通規制情報を掲載
○大会前に新聞やテレビ等の広報媒体を通じて、交通規制等を周知
○「金沢マラソンナビタイム」を 10 月 1 日から開設し、大会当日における交通規制下の迂回情報を提供
○「金沢マラソン交通規制状況サイト」を大会当日に開設し、リアルタイムに交通規制情報を提供 |

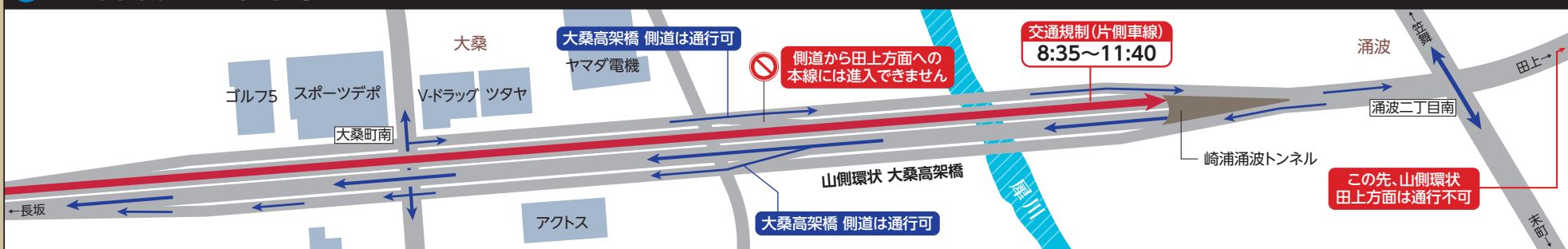
1 スタート会場周辺



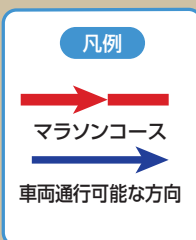
2 金沢駅周辺 注意 混雑エリア



3 山側環状・大桑町周辺



4 駅西50m道路・西念周辺 ※西念、南新保南、南新保、諸江交差点からは金沢駅には行けません。藤江、田中交差点をご利用ください。



5 兼六園下〜橋場交差点周辺 ※この区間はランナーが2回通過します。



6 フィニッシュ会場周辺 注意 混雑エリア



令和８年８月２７日の大雨の状況について

１ 気象状況

８月２７日（木） ２：５９ （発表） レベル３大雨警報
６：３２ （発表） レベル４大雨危険警報、レベル３土砂災害警報
７：２５ （発表） レベル４土砂災害危険警報
１６：２０ （発表） レベル２大雨注意報、レベル２土砂災害注意報

※１時間最大雨量 ４４．５mm（７：２０～８：２０） ２４時間雨量 ９５．５mm

２ 避難指示

- ・避難指示 １ ７校下・地区（避難対象数：７１，７７１世帯、１４８，４００人）

８：１５ 発令	土砂（花園、薬師谷）	２校下・地区	→	１６：２０	解除
９：５０ 発令	河川（伏見川流域）	１ ２校下・地区	→	１５：４５	解除
１０：００ 発令	河川（高橋川流域）	１ １校下・地区	→	１５：４５	解除
- ・最大避難者数 ４ ２名（１２：００）

３ 被害状況

- ・人的被害：なし 建物被害：なし

令和８年度 全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査の結果について

児童生徒の学力や学習状況を把握し、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に実施した全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査の結果について報告する。

Ⅰ 令和８年度 全国学力・学習状況調査

１ 調査の概要

(１) 調査実施日

調査実施日	実施教科等
令和８年４月２３日(木)	小学校 国語・算数 中学校 国語・数学
令和８年４月２０日(月)～４月２３日(木)のうち１日	中学校 英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」及び生徒質問調査
令和８年４月２４日(金)～５月２９日(金)のうち１日	中学校 英語「話すこと」
令和８年４月２４日(金)～５月 ８日(金)のうち１日	小学校 児童質問調査

(２) 調査実施数

(国語の調査を実施した児童生徒数)

区 分	金沢市（市立・全数）		全国（公立・全数）
	学校数	調査実施数	調査実施数
小学校第６学年	５２校	３,３０８人	９２２,４１１人
中学校第３学年	２４校	３,３０９人	８４１,８７３人

(３) 調査内容

①教科に関する調査	・小学校：国語、算数 ・中学校：国語、数学、英語
②児童生徒質問調査	・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
③学校質問調査	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

※中学校英語及び質問調査は、オンライン方式で実施

2 各教科の平均正答率及び平均 I R T スコア

【小学校第 6 学年】

(単位：％)

区 分	国 語	算 数
金 沢 市 (市立・全数)	6 6	6 0
石 川 県 (公立・全数)	6 5	5 9
全 国 (公立・全数)	6 1	5 6

【中学校第 3 学年】

(単位：％)

(英語：I R T スコア)

区 分	国 語	数 学	英 語
金 沢 市 (市立・全数)	6 9	6 4	5 2 1
石 川 県 (公立・全数)	6 8	6 3	5 1 3
全 国 (公立・全数)	6 4	5 7	4 9 9

3 質問調査の結果概要

〔児童生徒質問（小 7 3 問・中 8 0 問）、学校質問（小 8 5 問、中 9 3 問）〕

※国比較：【 5 ポイントを基準として】◎大変よい傾向が見られる ▲課題と見られる
【 2 ポイントを基準として】○よい傾向が見られる △やや課題と見られる
－同程度のもの

(1) 金沢探究スタイルに関連する質問事項（児童生徒質問）

(単位：％)

番号	質問事項		小 6	国比較	中 3	国比較
39	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	1 + 2 の割合	82.2	○	83.2	○
		1 の割合	33.0	○	32.1	◎
42	学級の友達との（生徒の）間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている	1 + 2 の割合	87.9	○	89.9	○
		1 の割合	45.2	－	44.5	○
40	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	1 + 2 の割合	77.8	○	76.1	◎
		1 の割合	29.6	○	27.7	○

1 とてもそう思う 2 そう思う

(2) デジタル力の育成に関連する質問事項（児童生徒質問）

(単位：％)

番号	質問事項		小 6	国比較	中 3	国比較
35	前学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用したか ※ 1 ほぼ毎日（1日で複数の授業で活用） 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業）	1 + 2 の割合	49.2	◎	67.3	◎
		1 の割合	23.1	○	33.6	○
37-2	ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	1 + 2 の割合	90.7	-	96.0	-
		1 の割合	55.0	-	74.3	◎
37-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	1 + 2 の割合	92.0	-	93.0	○
		1 の割合	53.8	◎	48.8	○
37-6	ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	1 + 2 の割合	90.2	○	92.1	◎
		1 の割合	47.5	○	48.0	◎

1 とてもそう思う 2 そう思う

(3) 読解力の育成に関連する質問事項（児童生徒質問）

(単位：％)

番号	質問事項		小 6	国比較	中 3	国比較
59	(小) 国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていた (中) 国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていた	1 + 2 の割合	83.2	○	79.6	○
		1 の割合	37.7	○	33.3	○
26	学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書をするか ※ 1 2時間以上 2 1時間以上2時間未満	1 + 2 の割合	10.3	-	6.5	-
		1 の割合	4.5	-	1.9	-

30	新聞を読んでいるか ※ 1 ほぼ毎日 2 週に 1 ～ 3 回程度	1 + 2 の割合	11.0	－	9.1	○
		1 の割合	3.6	－	3.0	－

1 とてもそう思う 2 そう思う

(4) コミュニケーション力の育成に関連する質問事項（児童生徒質問）

（単位：％）

番号	質問事項		小 6	国比較	中 3	国比較
36-4	PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる	1 + 2 の割合	82.9	◎	86.0	◎
		1 の割合	53.8	◎	52.8	◎
46	授業や学校生活では、友達や回りの人の考えを大切に して、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んで いる	1 + 2 の割合	93.4	○	94.3	○
		1 の割合	56.7	○	54.7	◎
49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学 級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生 かして解決方法を考えている	1 + 2 の割合	85.2	○	88.4	○
		1 の割合	36.5	－	38.3	○
50	学級会（学級活動）における学級での話し合いを生か して、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んで いる	1 + 2 の割合	80.4	○	82.0	○
		1 の割合	33.9	○	33.8	◎

1 とてもそう思う 2 そう思う

Ⅱ 令和８年度 石川県基礎学力調査

１ 調査の概要

(1) 調査実施日

令和８年４月２２日（水）（予備日４月２４日（金））

※質問調査は、令和８年５月７日（木）～５月１３日（水）の期間で分散して実施

(2) 調査実施数

（小４は国語、小６・中３は社会の調査を実施した児童生徒数）

区 分	金 沢 市		金沢市集計・分析 対象者数		県集計・分析 対象者数
	学校数	調査実施数	学校数	抽出数	調査実施数(抽出)
小学校第４学年	52 校	3,290 人	52 校	1,268 人	3,875 人
小学校第６学年	52 校	3,319 人	52 校	1,288 人	3,926 人
中学校第３学年	24 校	3,335 人	24 校	704 人	2,336 人

(3) 調査内容

①教科に関する調査	・ 小学校 第４学年：国語、算数 第６学年：社会、理科、英語 ・ 中学校 第３学年：社会、理科
②児童生徒質問調査	・ 学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容
③教員質問調査	・ 授業における指導状況等に関する内容

※②③は、オンライン方式で実施

2 各教科の平均正答率

【小学校第4学年及び小学校第6学年】

(単位：％)

区 分	4年国語	4年算数	6年社会	6年理科	6年英語
金沢市（市立・抽出）	60	58	59	62	86
石川県（公立）	60	60	59	64	86

【中学校第3学年】

(単位：％)

区 分	3年社会	3年英語
金沢市（市立・抽出）	54	50
石川県（公立）	53	49

金沢市額公民館及び金沢市額市民センターの整備について

昭和53年に建築され、老朽化が進んでいる額公民館・額市民センターの建替え工事に着手する。

１ 施設概要

- (1) 建設地 金沢市額谷３丁目１番地３
- (2) 敷地面積 837.84㎡
- (3) 構造 鉄筋コンクリート造 ２階建
- (4) 延床面積 729.81㎡（公民館440.64㎡、市民センター289.17㎡）
- (5) 機能 １階 公 民 館：事務室、会議室、防災備蓄倉庫
市民センター：待合室、事務室、会議室
２階 公 民 館：ホール、調理実習室、図書資料室
- (6) 特徴
 - ・エレベーターやバリアフリースイレを設置するほか、土足入館とし、幅広い世代の利用に配慮
 - ・防災備蓄倉庫を設置し、地域の防災拠点施設としての機能を強化

完成イメージ
(駐車場整備完了後)

２ 総事業費

約７億２千万円（債務負担行為含む）

３ 今後の予定

- ・令和８年10月～令和10年３月 建築・設備・外構工事
- ・令和10年６月頃 供用開始
- ※供用開始後、現施設を解体し、駐車場を整備



金沢市東浅川公民館の供用開始について

令和7年9月から、金沢もりづくりベース東浅川の整備に合わせ進めてきた東浅川公民館の移転整備が、令和8年9月に完了することから、10月31日より供用を開始する。

1 施設概要

「金沢もりづくりベース東浅川」1階部分の一部に設置

- (1) 所在地 金沢市浅川町イ140番地1（旧東浅川小学校）
- (2) 施設規模 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建（施設全体）
延床面積 192㎡（施設全体：3,399㎡）
- (3) 主な施設 会議室、事務室、書庫、倉庫 等
- (4) 特徴 内装に金沢産材を多く使用し、森づくり活動の拠点施設である「金沢もりづくりベース東浅川」との親和性に配慮



外観（金沢もりづくりベース東浅川）

2 事業費

約2千9百万円（施設全体：約7億9千万円）

3 金沢もりづくりベース東浅川・金沢市東浅川公民館 完成記念式

- (1) 日時 令和8年10月31日（土） 午前10時から
- (2) 場所 金沢もりづくりベース東浅川 大集会室



会議室（東浅川公民館）

台南市での「加賀鳶梯子登り」の演技披露について

本年５月に台南市と締結した「観光・文化交流促進に関する合意書」に基づき、１０月に開催される台南市を代表する芸術フェスティバル「南瀛国際民俗芸術節」にて加賀鳶梯子登りを披露することにより、金沢の文化の奥深さを発信するもの。

１ 日 程

令和８年１０月１６日（金）～１８日（日）

２ 場 所

台南市内 南瀛緑都心公園ほか

３ 参加者

加賀とびはしご登り保存会 ３０名

４ スケジュール

- １６日（金） 参加団体によるオープニング演技披露
台南市関係者との交流
- １７日（土） 開幕式
台南市内をパレード
解説付き演技披露（梯子登りの概要を紹介）
- １８日（日） メインステージ公演での演技披露



【平成３０年 ナンシー市での演技披露の様子】

金沢市婦人防火クラブ協議会結成45周年記念事業について

「私たちの家庭、地域からは、火災を出さない。」との決意のもと、昭和56年に結成された「金沢市婦人防火クラブ協議会」が、結成45周年を迎えることから、記念大会を開催し、今後一層の発展を誓い合うもの。

1 日 時

令和８年10月２日（金）午後１時30分～４時00分

2 場 所

金沢市消防局 ２階防災センター

3 参加者

婦人防火クラブ員 約230名（56クラブ×４名）

4 来賓者

金沢市長、金沢市消防局長、
金沢市第一消防団長、金沢市第二消防団長、金沢市第三消防団長、
金沢市子ども消防クラブ協議会会長、
金沢市防火協議会会長

5 内 容

第１部 午後１時30分～２時00分

【記念式典】

婦人防火クラブ特別功労者市長表彰
優良婦人防火クラブ代表者消防局長表彰 など

第２部 午後２時10分～４時00分

【活動発表】

三馬校下婦人防火クラブ
諸江女性消防クラブ
三和校下婦人防火クラブ

【基調講演】

演題 「金沢の地震リスクと防災」

講師 金沢大学理工研究域教授 ^{ひらまつ}平松 ^{よしひろ}良浩氏



【過去の記念大会の様子】

金沢市子ども消防クラブ協議会結成45周年記念大会について

昭和56年に結成された「金沢市子ども消防クラブ協議会」が結成45周年を迎えることから、記念大会を開催し、クラブ員の一層の飛躍と協議会の活性化を図るもの。

1 日 時

令和 8 年 10 月 10 日（土）午前 9 時 30 分～12 時 00 分

2 場 所

石川県消防学校 屋内訓練場

3 参加者

子ども消防クラブ員・指導者、子ども会連合会役員 など

4 来賓者

金沢市長、金沢市子ども未来局長、金沢市消防局長、
金沢市第一消防団長、金沢市第二消防団長、金沢市第三消防団長、
金沢市婦人防火クラブ協議会会長、金沢市防火協議会会長、
前子ども消防クラブ協議会長

5 内 容

第 1 部 午前 9 時 30 分～10 時 15 分

【記念式典】

子ども消防クラブ特別功労者市長表彰
優良子ども消防クラブ指導者消防局長表彰
子ども消防クラブ音楽隊演奏 など

第 2 部 午前 10 時 30 分～12 時 00 分

【連合訓練】

①火災伝達及び消火器取扱い訓練

②防火衣着装・結索訓練

③消防ホース取扱い訓練

ほか、各種体験コーナー
(ホースボーリング、空気呼吸器着装体験)



【過去の式典・連合訓練の様子】